

法政大学

15学部38学科を展開し、幅広い学びのニーズに応える法政大学。2023年度入学者選抜は、従来のスタイルを踏襲しながら、グローバルな視野を持つ学生により広い門戸を開いていく傾向が見られる。アフターコロナを見据えた、グローバル教育の展開にも注目が集まっている。

得意科目を活かせる
一般選抜の5つの方式

幅広い選抜方式で、多様な学生を受け入れてきた法政大学。2023年度入学者選抜でもそのコンセプトは変わらない。まず、一般選抜は、T日程入試（統一日程）、英語外部試験利用入試、A方式入試（個別日程）、大学入学共通テスト利用入試B方式（3教科型）／C方式（5教科6科目型）の5つの方式を実施する。

A方式入試は募集人数が最も多い選抜方式で、毎年2月に全国6都市で実施される3科目試験である。試験日が異なれば、複数の学部や同一学部の複数学科を併願できる。

大学入学共通テスト利用入試の2つの方式は、ともに大学入学共通テストの得点のみで合否を判定し、大学独自の個別学力試験は課さない。

1科目で受験ができる
「英語外部試験利用入試」

同日に14学部が実施するT日程入試は、全国10都市で実施。文系であれば「国語または数学・英語」※1、理系であれば「数学（数Ⅲあり）・英語」または「数学（数Ⅲなし）・英語」といった組み合わせで2科目受験ができる。上記組み合わせの同一パターンを採用する学部・学科であれば、文系最大10学部、理系最大3学部を併願できる。

T日程入試と同日に実施する英語外部試験利用入試では、各学部・学科が指定する英語

外部試験のスコア基準を満たすことが出願条件となり、T日程入試の英語が免除になる※2。2023年度から経営学部が加わり全15学部で実施する。科目パターンが同一の文系最大11学部、理系最大3学部の併願が可能になった。事実上、英語以外の1科目のみで合否判定を行うため、対策次第で大きく可能性は広がるだろう。

「総合型選抜」でも受験生の
ユニークな経験・強みを評価

法政大学では、総合型選抜においても学生のさまざまな経験や得意分野を重視する多様な入試を実施している。4学部7学科で行う「グローバル体験公募推薦」、キャリアデザイン学部の「キャリア体験自己推薦」、現代福祉学部福祉コミュニティ学科の「まちづくりチャレンジ自己推薦」などがその一例だ。2023年度から法学部国際政治学科で新たに「英語外部試験利用自己推薦入試」を導入。また、注目すべきは、国際文化学部など計6つの学部・学科で「国際バカロレア利用自己推薦」を実施していること。グローバル人材育成に注力する姿勢が見えてくる。さらに、法政大学では、GIS（グローバル教養学部）だけでなく、経済学部、経営学部、人間環境学部にも、すべての授業を英語で行う「英語学位プログラム」を用意している。コロナ禍においても英語環境で学びたい学生から人気を集めている。

INFORMATION

オープンキャンパス
【市ヶ谷キャンパス】

8/20・21・22
SAT SUN MON

【多摩キャンパス】

8/6・11
SAT THU

【小金井キャンパス】

8/6
SAT

法政大学入試情報サイトでは、2023年度入試の最新情報のほか、過去のオープンキャンパスの動画などを見ることができます。



※1 文学部日本文学科は「国語・小論文」、文学部地理学科は「地理・英語」。
※2 GIS（グローバル教養学部）は換算型としてスコアにより英語の得点に換算される。

期待する受験生像



入学センター長
アドミッション・オフィサー
菊池 克仁

法政大学の多彩な入試には、さまざまな得意分野を持った多様な学生を広く募集したいという思いが込められています。自分の経験や強みが発揮できる選抜方式を選んでチャレンジしてください。対面だけでなくオンラインでの情報発信にも力を入れており、法政大学のWebサイトから多彩なコンテンツに触れることができます。キャンパスに來られない受験生の方にも注目いただきたいですね。自ら学ぶ姿勢を持ち、「自由を生き抜く実践知」を身に付けたい皆さんをお待ちしています。